

2025 年 6 月 30 日

学校法人三幸学園
福岡こども専門学校
校長 岩本 克也 殿

学校関係者評価委員会
委員長 久行 唯之

学校関係者評価委員会実施報告

2024 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 久行 唯之（学校法人西福岡学園 そね幼稚園 園長）
- ② 新町 颯太（株式会社日本保育サービス アスク竹下保育園 2024 年度卒業生）
- ③ 小山 公彦（学校法人三幸学園 飛鳥未来高等学校 福岡博多キャンパス キャンパス長）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2025 年 6 月 24 日（会場 福岡こども専門学校 201 教室）

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2024 年度 学校法人 三幸学園 福岡こども専門学校 自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 武藤洋和・林成志

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 久行唯之

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、保育分野の学校として「こどもを育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、保育分野として「皆から信頼・感謝されるこどもの未来を育む人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

- ・社会のニーズに合った“実践的な職業教育”の確立
 - のべ活動学生数＝在籍学生数の実践の場の創造
 - 現場の声を教育に活かすための園訪問強化
 - 学園理解をふまえた産学連携の関係性確立

② 学校関係者評価委員会コメント

<久行委員>

・園訪問の強化は、現場の声を聞く上で非常に有効であり、現場も嬉しく感じている。現場で活躍している卒業生も同様に、喜んでいる様子があるので引き続き取り組むことが今後の教育に活きると感じる。

<小山委員>

・産学連携をしていくことで、学生や学校のニーズだけではなく、社会や地域のニーズに応えることもできる。学校から適切にサポートしながらも学生主体で取り組めると、実践力がより身についていくと考える。

<新町委員>

・実践の場が多くあったことで、実践力が身についたと思っている。またボランティア等で子どもたちだけでなく、現場の先生と関わることもできたことも、今の現場で活きている。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

- ・業界の現状理解とニーズを踏まえた学生育成・指導を行うこと。
- ・教育理念・目標を生徒・保護者へ浸透させること。

② 今後の改善方策

- ・常に保育業界からいただく声に耳を傾け、ニーズに合わせた実践的な職業教育を確立させる。
- ・生徒・保護者へ浸透させるための情報発信を行う。

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

<久行委員>

- ・業界のニーズとして「ICT 化推進」がある。日誌を WEB 化することは、現場としても必要なことだと感じる。

<小山委員>

- ・高校分野での保護者連絡はアプリを使用した発信が多い。情報の内容に合わせた発信ができると良い。

<新町委員>

- ・教育理念や目標は授業の中で伝えられていたので、定められていることは理解していた。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・意思決定をスムーズに行うための組織の整備
- ・DX 化促進による業務の効率化

② 今後の改善方策

- ・意思決定を含めた組織体制をシンプルに整備し、公開することでスムーズ化をはかる
- ・DX 化に向けたリテラシーを高めるための研修の開催及び外部研修への参加促進

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

<久行委員>

- ・福岡市の研修は充実しており、外部研修でコンプライアンス研修を学んでいる。

<小山委員>

- ・DX 化を意識するあまり、現場が困惑するケースも有り得る。目的を浸透させることも必要。

<新町委員>

- ・研修関連はオンデマンド型、動画視聴型のものも受けている。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

・保育業界のニーズに合った人材を育成するためのカリキュラム・シラバスの見直し

② 今後の改善方策

・保育業界関係者との連携を密にし、実践教育を行うための授業内容の見直しを行う

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

<久行委員>

・学生と現場、業界の方と関わる機会や接点は多くあるように感じている。学生に対して保育業界の魅力を伝えることも有資格者として必要なことだと捉えて、現場も養成校と連携を取っていきたいと考えている。

＜小山委員＞

・高校分野、通信制高校の学生も今まで比べると変化しているように感じる。学生自身が自分で決める、自立できるように関わっており、目指す職業に近づけるように支援していきたい。

＜新町委員＞

・授業内容を見直す根拠となる「授業アンケート」があるが、意図を理解せずに安直に答えている学生もいた為、目的や実施方法を検討する必要もあるように感じる。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

・卒業後のキャリア形成の把握不足

② 今後の改善方策

・同窓会組織を活用した卒業後のキャリア把握を行う
・卒業生訪問の頻度をあげ、在学中の教育活動における改善点をヒアリングする

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

＜久行委員＞

・リカレント教育・キャリア形成において、離職後は追えないのが現状。昨年は福岡市で幼稚園教諭 75 名が退職しており、多い年次が 5 年目。ライフイベントによる転勤が多いことも要因としてあげられる。

・学生と学校の繋がりが強いのが、福岡こども専門学校の特徴だと感じる。在校生の実習訪問はもちろん、卒業生訪問は園としてもありがたい。卒業生の悩み相談やリフレッシュになり、現場としても嬉しく感じている。

＜新町委員＞

・卒業後も、現場の悩みや相談ができるのはとてもありがたい。同窓会を通して、他の卒業生の活躍なども知りたい。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・保育業界との連携強化による就職支援体制の充実
- ・スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーとの連携による学生相談体制の充実
- ・高専接続の取り組み強化

② 今後の改善方策

- ・保育業界のニーズを把握し就職支援に活かし、就職後もサポートできる体制を確立させる
- ・学生相談体制を整え充実させることで中途退学者減少に取り組む
- ・高校との教育内容のすり合わせによりスムーズな教育が行われる体制を確立させる

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

<小山委員>

- ・進学先との連携は引き続き取り組んでいきたい。送り出した卒業生が進学先でどのように学校生活を送っているのか知りたい、教えてもらえるとありがたい。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

- ・学内通信環境の整備
- ・実習日誌 WEB 化による実習の充実

② 今後の改善方策

- ・通信回線の改良により学習環境の整備を行う
- ・実習日誌 WEB 化により実習本来の目的を明確にし、より充実した体制を整備する

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

<久行委員>

- ・ICT 化やオンデマンド授業、ハイフレックス授業を取り入れるにあたり、通信回線は生命線になる。

<新町委員>

- ・学内の Wi-Fi は大人数が使用すると遅くなる可能性もある為、繋げたことはなかった。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・福岡県専修学校各種学校協会の規定に従った適正な募集活動の実施

② 今後の改善方策

- ・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3期中期計画(2023 年度～2027 年度)の2年目にあたり、中期計画及び進捗状況はホームページ上に公開している。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

第3期中期計画については、東京未来大学及び小田原短期大学の中計改定に加え、東京みらい中学校及び支援学校仙台みらい高等学園の内容を追加し、第3期中期経営計画(第2版)として改定する予定である。

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・コンプライアンス及び個人情報管理など法令に関する更なる理解促進

② 今後の改善方策

・教職員全員を対象としたコンプライアンス研修を実例紹介も併せて実施

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

・地域貢献活動への参加

② 今後の改善方策

・保育業界に限らない地域貢献活動への参加

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

＜久行委員＞

・福岡こども専門学校は、学生個人や学科クラスではなく、学校全体で動いているイメージがある。
・地域貢献活動は、実際難しい部分もある。先方、現場の共通認識がないと成果としては上がらない。

＜新町委員＞

・ボランティア活動は、積極的に行く雰囲気や先生方からの案内も多くありがたかった。就職活動にも活きると思う。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

＜久行委員＞

・先を見て、動き出しが早い学校であると感じる。だからこそ、引き続き業界の為、未来の保育士やこどもたちの為にも、ぜひ現場の声を大切に学校運営に活かしてほしい。

＜小山委員＞

・卒業生が多い為、卒業生の活躍を把握する、教育に活かすことができればより良い学校運営が出来るように感じる。現場の声はもちろん、産学連携に力を入れて、社会から求められる人材育成を引き続き取り組んでほしい。

＜新町委員＞

・現場に出てはじめて、実践の場があることの意味がわかった。知識もちろん大事だが、実践・経験を学生のうちにたくさん積めるように、支援してほしいと感じる。

＜林副校長＞

・時代のニーズに合った“実践的な職業教育”の確立が必要と考える。社会のニーズに対する即応性を大切にし、職業能力等に特化した実学の学校を目指すことで専門学校として価値を見出していきたい。